

創つくるる

vol.168

令和6年7月1日発行

| | |
|-------|----|
| ごあいさつ | 1 |
| 定時総会 | 5 |
| 美食めぐり | 8 |
| 現場紹介 | 9 |
| トピックス | 13 |
| 防災日誌 | 16 |
| 協会だより | 17 |



ごあいさつ

今年4月に管内の国・県の出先機関等に新しく着任された所属長様から今年度の重点施策や取り組みなどについて寄稿していただきました。



関東森林管理局
大井川治山センター所長

小田嶋 信宏 氏

〔前職〕関東森林管理局 計画保全部

治山技術専門官

4月から所長を務めさせていただきます。よろしくお願いします。よろしくお願ひします。

井川湖上流に位置する大井川地区の民有林直轄治山事業は昭和41年度から始まりましたが、榛原川地区を追加し大井川治山センターとしてスタートしたのは平成13年度からです。

当センターには平成13年の開所時に赴任して3年4ヵ月勤務しており、約20年ぶりとなる古巣の勤務となりますが、当時の荒廃箇所が見違えるように復旧している現状を見ると感慨深いものがあります。

○今年度の重点方針や今後の取り組み

大井川治山センターは、一級河川大井川の上・中流域に位置する民有林において、中央構造線、糸魚川―静岡構造線に挟まれた極めて脆弱な地質と急峻な地形に加え、降雨も多く高標高という厳しい自然条件のなか、広範囲にわたる崩壊地の復旧や、溪

流に堆積する不安定土砂の固定及び流出防止を図るなどの治山事業を実施している行政機関となっています。

林野庁では災害に強い森林づくりによる国土強靱化を進めるため、「防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づいて荒廃山地の復旧はもとより、被害の発生を未然に防止する事前防災・減災対策を強力に進めています。

大井川治山センターとしても、地域の皆様の安全と安心のために、環境に配慮しながら着実な事業の実施に努めていきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願ひいたします。

○建設業界に期待すること

令和6年1月1日に能登半島地震が発生して約半年が経過しました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。

林野庁では地震直後にへり調査や緊急調査のため関東森林管理局を含めた各局から職員派遣を行ったところであり、今後の本格的な復旧対応のため設置された奥能登地区山地災害復旧対策室には関東森林管理局からも職員が派遣されています。また、建設業界からも支援物資の提供や復旧支援への対応をいただいております。幅広い支援に感謝申し上げます。

静岡県においても、令和3年7月の熱海市伊豆山土石流災害、令和4年9月の台風15号豪雨災害、令和5年6月の台風2号豪雨災害、8月の諸子沢地すべり災害など、近年は、温暖化の影響を受けた気候変動に伴い毎年のように大型台風や線状降水帯による大雨が発生しており、全国的に多くの災害が発生しているところであり、非常時においては地元建設業界の協力が必要不可欠と考えます。

欠と考えます。

一方で、2019年より施工された「働き方改革関連法」の5年間の猶予期間が終わり本年4月より適用されるなど、建設業界をとりまく環境は大きく変わつつあります。発注者として各種対応（施工時期の平準化、適正な工期設定、週休2日の取り組み、ICT活用工事の導入、情報共有システムの導入、遠隔臨場の導入等々）を進めているところですが、建設業界では就労者の高齢化が深刻となっている状況であり、時代の変化に対応して組織体制を維持していくためには円滑な世代交代を進め、ベテラン職人の豊富な経験や知識の継承とIT時代に育った若年職人との連携・融合が重要と考えます。

建設会社は、単に建築物を建てるだけの存在ではありません。災害発生時には被災情報の収集や道路の復旧、応急復旧工事など、地域のインフラとしての役割を果たしており、生活基盤を支える要として地域住民の生活環境改善や地域経済の活性化に直結する地域に根ざした建設会社の役割は大きく、あらためて地域の守り手として重要な存在であると認識しております。

なにはともあれ、多様な役割を果たすためには労働災害を防ぐことが基本となります。従業者が安全に健康かつ快適な環境で働けるよう、できる取り組みから着実に進めていただければと思います。



榛原川地区（ホーキ薙：山腹工）



大井川地区（東沢：山腹工）



志太榛原農林事務所長

中村友之 氏

〔前職〕経済産業部 農芸振興課長

私は、令和6年4月に志太榛原農林事務所に赴任しました。これまで主に農業生産振興関係の業務に従事してまいりましたので、建設業関係の皆様とは、これまであまり接点がありませんでしたが、この1年よりしくお願い致します。

御挨拶にあたりまして、日頃、県の農業、農地・土地改良、森林・林業行政に御理解、御支援をいただき深く感謝申し上げます。また、災害時における復旧業務においても、多大な御協力をいただいておりますこと、改めてお礼申し上げます。

○今年度の重点方針や今後の取り組み

県は、一昨年度からスタートした総合計画「静岡県の新ビジョン後期アクションプラン」の分野別計画となる「食と農の基本計画」（農業部門）、「農業農村整備みらい

プラン2022―2025」（農業農村整備部門）、「森林共生基本計画2022―2025」（森林・林業部門）に基づき、施策を推進しています。当事務所においても、「地域計画重点プロジェクト」を作成し、志太榛原管内の農林業振興に取り組んでいくところです。

取組の一部を紹介いたしますと、農業部門では、管内の主力品目である「茶」については、「地域特性を活かした茶生産体制の再構築と持続可能な経営体の育成」を目指し、国内外の需要に応じた茶の生産体制の整備や効率的・持続的な農地の利用に向けた取組を支援してまいります。

次に、農業農村整備部門においては、「農の営みを支える戦略的な生産基盤づくり」、「農の暮らしを育む多様な邑づくり」を基本施策とし、茶園等の基盤整備や農業水利施設の更新整備、農業用ため池等の防災・減災対策を進めるとともに、関係人口の拡大に取り組んで参ります。

さらに、森林・林業部門では、ドローンや航空レーザによる高精度森林情報の活用などの先端技術の導入により、森林資源の循環利用を担う林業・木材産業のグリーン成長を進めるとともに、災害に強い森林づくりや路網整備の取組により、森林の公益的機能の維持・増進を図っていくことで、カーボンニュートラルの実現に貢献して参ります。

○建設業界に期待すること

建設業界の皆様には、農林業の生産基盤の整備や地域住民の安全な生活を支える工事などに従事いただき、深く感謝申し上げます。

県では、事業の発注者として適正な事業執行と工事管理に注力していくとともに、作業現場の皆さんとの信頼関係の構築を図り、工事施工環境の改善に努めてまいります。協会の皆様方には工事の安全確保を図りつつ、引き続き、県民の立場、利用者の立場を踏まえ、質の高い安全な工事の施工に努めていただくようお願いいたします。



林道本城下泉線
(榛原郡川根本町東藤川)



大区画整形に整備された朝生原地区の茶園
(牧之原市静谷)



御前崎港管理事務所長

柳原 一貴 氏

〔前職〕交通基盤部 技術調査課長

○今年度の重点方針や今後の取り組み

当事務所では、御前崎市から牧之原市にかけて位置する重要港湾の御前崎港と、牧之原市内に位置する地方港湾の相良港及び榛原港の3港を主に所管しています。

なかでも、国際海上輸送の拠点である御前崎港は、背後圏である県中西部地域の自動車関連産業をはじめとした県内産業を物流面で支える一方、さまざまなマリレジャーへの利用やクルーズ船の寄港など地域の賑わいの拠点にもなっております。

クルーズ船の寄港では、今年4月にダイヤモンド・プリンセスが初寄港、ウエステルダムが寄港するなど、今後クルーズ船の利用拡大が見込まれます。

また、東名高速道路や新東名高速道路、富士山静岡空港と御前崎港を結ぶ地域高規格道路「金谷御前崎連絡道路」は本年度に国道1号菊川ICから倉沢ICまでの区間

が供用開始される予定であり、完成すれば陸・海・空の広域交通拠点が結ばれ、交通アクセスが飛躍的に向上します。

このようななかにあつて、大規模災害等から県民の生命と財産を守る津波対策施設などの整備をすすめるとともに、長寿命化対策を行いながら、港の機能を十分に発揮するための港湾施設の整備や維持管理を進めています。

特に大規模災害発生時には緊急物資の輸送拠点となる御前崎港では、胸壁等津波対策施設の整備について着実に進捗を図っております。併せて想定を超える津波に対しても被害の軽減を図るため国直轄事業による防波堤の粘り強い構造化も促進し、複合的な津波対策により御前崎港の強靱化に取り組んでまいります。

○建設業界に期待すること

建設業界は令和6年4月1日から、時間外労働の上限規制が適用開始されました。しかし一昨年の台風15号や昨年の台風2号など、台風の大型化による災害リスク増大や、元日に発生した能登半島地震による道路等の公共インフラ復旧には建設業界の献身的な協力なくして成り立ちません。人口減少や少子高齢化の進展等に伴う事業者の減少が進行するなかで社会資本整備の担い手として求められる役割はますます増大しております。

今後、このような環境の変化や社会的な要請に対応していくためには、官民が連携して、働き方改革により建設産業の魅力を

高めて担い手を確保するとともに、高度通信技術や新技術新工法を積極的に活用し、建設現場の生産性向上に取り組んでいくことが重要となります。引き続き、建設業界の皆様と連携協力し、夢や誇りの持てる魅力ある建設産業への転換に向けて、取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



ダイヤモンド・プリンセス寄港時の
はいばら太鼓演奏



ウエステルダム



藤枝市長

北村 正平 氏

「誰もが安心して健康に暮らし、希望を持てるまち」を目指して

■はじめに

このたび、藤枝市長として引き続き、5期目の市政経営を担わせていただくこととなりました。想像を超える速さで進む人口減少や長期に亘ったコロナ禍、物価高騰などは社会の在り方をも一変させており、大変不安定な状況にあります。誰もが安心して健康に暮らし、希望の持てるまち」を築くため、実効性のある施策を展開してまいります。

■藤枝市の未来に向けて

本市は、これまで進めてきた施策により、多くの人を選ばれ、元気なまちに成長してまいりましたが、目下の不安定な世の中が、地方の自治体にも大きく影響しております。こうした中、本市は今年、市制施行70周年という大きな節目の年を迎えておりますので、希望ある明るい未来に向けて大きな一歩

を踏み出す取組を進めてまいります。

■具体的な4つの方針

これまでと同様に、市民生活に直結する4つのK（健康・教育・環境・危機管理）を基本とし、市民の安全・安心の基盤の上に収斂し、変革により成長を生み出してまいります。

1. 「広域連携の強化」

まずは、より地域間競争が進む中で、圏域全体の経済力、吸引力を高めることが不可欠です。そこで、現在進めている5市2町（本市、静岡市、島田市、焼津市、牧之原市、吉田町、川根本町）による「しずおか中部連携中枢都市圏」の取組をより強化し、協力してヒト・モノ・カネを呼び込む力強い経済圏を確立します。

2. 「強みを活かした新たな成長戦略の確立」

本市の強み、資源であり、世界的な成長分野でもあります「食と農」「健康・医療」を結び付け、新たな製品や技術、サービスを生み出す地域に根付いた産業を確立し、中小企業や農業と連動させてまいります。また、同じく本市の貴重な資源であります、サッカーを中心とする「スポーツ」とも連動させた「藤枝シティ・トレセン構想」も本格的に始動し、国内外から関係人口や交流人口を拡大し、地域経済への波及を進めます。

3. 「誰ひとり取り残さない支援」

少子高齢化が進展する中で、子ども、子育ての支援、そして高齢者の支援を両輪で重点的に進めます。本市ではこの春、「こど

も基本条例」、「認知症条例」を施行しましたが、今後、当事者はもとより、その家庭も含め、社会全体で支える仕組みづくりを進めます。

また、結婚や出産・育児の希望が本市で叶うよう、妊娠や出産を支える仕組み、高齢者の社会とのつながりや、安心できる日常のサービスを提供する総合的な生活支援の仕組みも確立してまいります。

4. 「若者、女性が輝き活躍できる環境づくり」

本市において、若い世代、女性が希望をもつてチャレンジし、自己実現できる環境を整えます。まずは、まち自体の魅力を高めるため、これまで進めてきた藤枝駅を核とした中心市街地や、旧東海道の街道沿いの旧市街地、瀬戸谷・朝比奈地区の中山間地域のまちづくりをさらに加速させます。

また、若い世代の将来への可能性を広げるため、小中学校からの英語やICTなど社会実践力のある教育、年齢にとらわれず学びの場を提供する藤枝市民大学での教育にさらに磨きをかけ、教育に魅力がある都市づくりも進めます。

■結びに

極めて不安定で不確実な社会の中で、明るい未来向け、市政の新たなステージが始まります。私は、市民の皆様の「幸せ」こそが、本市の明るい未来への力であり、この大きく変革する社会を切り拓く力であると考えます。今後とも、地域の発展のため、（社）島田建設業協会の皆様の御理解と御協力を願います。

令和6年度定時総会を開催 新会長に山田壽久氏



(一社) 島田建設業協会及び建災防島田分会並びに島田地区建設事業協同組合は、5月14日(火)に島田建設業会館会議室において、令和6年度第1回総会を開催しました。

冒頭、朝倉会長は、「少子高齢化の進展により、若者の入職者の減少と従事者の高齢化が進み、担い手の確保と共に技術の継承にも懸念が生じている。この4月から適用された時間外労働の罰則付き上限規制などの働き方改革を従事者の処遇改善の好機として、建設業を働きやすい職場改善に繋げていきましょう」

と呼び掛けました。

この後議案審議に入り、(一社) 島田建設業協会、建災防島田分会及び島田地区建設事業協同組合の事業報告と収支決算報告並びに協会と事業協同組合の役員任期満了に伴う理事及び監事の選任案などが上程され、審議の結果、すべての議案が全会一致で承認されました。

また、新たな正副会長として、新会長に山田壽久氏(新任)、副会長に梶山基氏(再任)、岡村延昌氏(新任)、植田進氏(新任) がそれぞれ選任されました。

山田壽久会長 就任あいさつ



このたび、一般社団法人 島田建設業協会の会長に就任いたしました山田壽久でございます。

梶山 基副会長と、新たに副会長に就任されました岡村延昌理事、植田進理事の3人の副会長並びに役員の皆様、さらに協会会員の皆様のご協力を戴き、島田建設業協会のより一層の発展に努めて参りたいと思っております。

さて、本年1月には能登半島地震により甚大な災害が発生致しました。私共静岡県内におきましても南海トラフ地震の発生が長い間想定されており、地域の守り手としての建設業に課せられた役割はたいへん大きくなっております。

しかしながら、現在建設業界は、若者の入職者の減少や従事者の高齢化が進み、担い手の確保と共に

技術の継承にも懸念が生じております。

また、本年4月から適用されました時間外労働の罰則付き上限規制への対応や週休2日制の完全実施などを、建設従事者の皆さんの処遇改善の好機としてとらえ、建設業を働きやすい職場へと改善していく必要があります。

このような中であって、地域を支える建設業が着実に発展し、将来に亘ってその社会的役割を果たしていくためには、会員企業や行政・関係団体の皆様と緊密な連携を図り、事業量の確保や、生産性の向上、また働き方改革を推進し、何よりも、良質な建設サービスの提供に努めることにより「魅力ある地域建設業」の持続的発展に向けて、精一杯努力して参りたいと思っております。

今後の島田建設業協会が、公益的な活動を通じて、地域に貢献するとともに、協会会員の皆様にとりまして、有益となる活動をさらに推進して参りたいと思います。今後とも、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 島田建設業協会 新役員紹介

役員の任期満了に伴い、令和6年5月14日の定時総会において、(一社)島田建設業協会、建災防島田分会及び島田地区建設事業協同組合の役員が選任されたので紹介いたします。



会 長 山田 壽久
(株)山田組



副会長 梶山 基
(株)梶山組



副会長 岡村延昌
岡村建設工業(株)



副会長 植田 進
(株)加藤組



理事 橋本勝策
(株)橋本組



理事 古川賢吾
フルカワクリエイト(株)



理事 朝倉純夫
大河原建設(株)



理事 山本利彦
(株)グロージオ



理事 紅林眞之
(株)丸 紅



理事 山岸 豊
山岸建設(株)



理事 原 廣太郎
(株)原小組



理事 菊池松巳
(株)柳澤組



理事 鈴木 徹
(株)鈴木土建



理事 増田雄也
相良建設(株)



理事 大石真也
大石建設(株)



監事 村松章典
(株)丸川組



監事 落合直人
(株)金谷工務店



監事 木村紘子
(株)木村組



専務理事 原田久仁一
事務局長

令和6・7年度（一社）島田建設業協会委員会 委員名簿

任期：令和6年5月14日～令和8年5月定時総会

| 委員会名 | 総務委員会 | 広報委員会 | 労務委員会 | 土木・ 建築委員会 | 環境・ 災害対策委員会 | 安全委員会 | 建設業労働災害防止協会 |
|-----------|--------------------|-----------------------|------------------|-------------------|-----------------------|--------------------|--------------------------|
| | | | | | | | 防災委員会 |
| 県協会 役員 | — | 植田 進 (株)加藤組 | 紅林 眞之 (株)丸紅 | — | 岡村 延昌 岡村建設工業(株) | — | 常任幹事 山本利彦 (株)グローシオ |
| 担当 副会長 | 梶山 基 (株)梶山組 | 植田 進 (株)加藤組 | 植田 進 (株)加藤組 | 梶山 基 (株)梶山組 | 岡村 延昌 岡村建設工業(株) | 岡村 延昌 岡村建設工業(株) | — |
| 委員長 | 原 廣太郎 (株)原小組 | 古川 賢吾 フルカワクリエイト(株) | 紅林 眞之 (株)丸紅 | 山田 壽久 (株)山田組 | 岡村 延昌 岡村建設工業(株) | 山本 利彦 (株)グローシオ | 山本 利彦 (株)グローシオ |
| 副委員長 | 山岸 豊 山岸建設(株) | 三村 秀雄 三村建設(株) | 本橋 孝洋 本橋建設(株) | 村松 章典 (株)丸川組 | 増田 雄也 相良建設(株) | 落合 直人 (株)金谷工務店 | 落合 直人 (株)金谷工務店 |
| 委員 | 橋本 勝策 (株)橋本組 | 八木 利寛 佐藤建設(株) | 梅原 克則 (株)橋本組 | 橋本 勝策 (株)橋本組 | 杉山 裕巳 (株)杉山工務店 | 小泉 雄弘 (株)橋本組 | 小泉 雄弘 (株)橋本組 |
| 〃 | 岡村 延昌 岡村建設工業(株) | 横井 秀明 (株)山田組 | 大石 徹 (株)山田組 | 朝倉 大輔 大河原建設(株) | 箸 正直 (株)グローシオ | 植田 優 木下建設工業(株) | 植田 優 木下建設工業(株) |
| 〃 | 山田 壽久 (株)山田組 | 山本 利彦 (株)グローシオ | 西川 稔 角丸建設(株) | 山本 利彦 (株)グローシオ | 天王沢 雄之 池村建設(株) | 富永 英之 (株)原川土木 | 富永 英之 (株)原川土木 |
| 〃 | 村松 章典 (株)丸川組 | 大場 祐一郎 (株)エコワーク | 伊藤 干城 (株)鈴竹 | 青島 英昭 興和建設(株) | 下田 晴久 (株)特種東海フォレスト | 大石 徹 (株)山田組 | 大石 徹 (株)山田組 |
| 〃 | 朝倉 純夫 大河原建設(株) | 中林 功德 (株)中林建設 | 大石 真也 大石建設(株) | 池田 豊 大井建設(株) | 高橋 浩司 高橋建設(株) | 小林 大介 (株)杉山工務店 | 小林 大介 (株)杉山工務店 |
| 〃 | 木村 紘子 (株)木村組 | 原 王彦 (株)原小組 | 鈴木 淳二 徳山建設(株) | 茂川 雅裕 マルキ建設(株) | 石川 祥也 大石建設(株) | 北村 泰士 (株)丸川組 | 北村 泰士 (株)丸川組 |
| 〃 | 植田 進 (株)加藤組 | 大石 健仁 大石建設(株) | 神田 優一 (株)神田組 | 増田 雄也 相良建設(株) | 梶山 基 (株)梶山組 | 青島 利浩 大河原建設(株) | 青島 利浩 大河原建設(株) |
| 〃 | 鈴木 徹 (株)鈴木土建 | 辻川 喜弘 (株)木村組 | | 小塚 辰巳 小塚建設(株) | | 高須 良彦 (株)エコワーク | 高須 良彦 (株)エコワーク |
| 〃 | 菊池 松巳 (株)柳澤組 | 鈴木 徹 (株)鈴木土建 | | | | 田崎 弘幸 (株)田崎組 | 田崎 弘幸 (株)田崎組 |
| 〃 | | 神田 耕一郎 (株)神田組 | | | | 植田 和之 (株)加藤組 | 植田 和之 (株)加藤組 |
| 〃 | | | | | | 増田 幹 相良建設(株) | 増田 幹 相良建設(株) |
| 〃 | | | | | | 八木 保之 共和建設(株) | 八木 保之 共和建設(株) |
| 〃 | | | | | | 鈴木 文昌 徳山建設(株) | 鈴木 文昌 徳山建設(株) |
| 〃 | | | | | | 菊池 寛 (株)柳澤組 | 菊池 寛 (株)柳澤組 |

※建設業労働災害防止委員会任期
令和6年4月1日～令和8年3月31日



美食 めぐり

No.08 つた家



今回ご紹介するお店は、島田市中央町の「つた家」さんです。

つた家さんは、素材にこだわり抜いた四季折々の天ぷらが評判で、厳選した季節の鮮魚も人気です。

また、お店一番の人気メニューは生もつを使用し、味噌仕立てで時間をかけて煮込んだ「もつ煮」です。さらに10〜3月頃までは「ふぐちり」も味わえます。



商号 つた家
 営業時間 17:00~23:00
 定休日 日曜日
 住所 427-0042 島田市中央町6-1
 席数 <カウンター>10名
 <小上り>4名×3席 <座敷>5~20名
 電話番号 0547-35-3606
 駐車場 6台



紹介

令和5年度 岡出山小路整備工事

【株式会社山田組】

● 工事概要 ●



着工前真上



着工前南側

| | | |
|--------------|---------------------|----|
| 工事名 | 令和5年度 岡出山小路整備工事 | |
| 工事箇所 | 藤枝市 藤枝五丁目 地内 | |
| 工期 | 令和5年5月29日～令和6年3月31日 | |
| 施工者 | 株式会社山田組 | |
| 発注者 | 藤枝市 | |
| 現場代理人 | 八木 悠登 | |
| 工事概要 | 敷地造成工 | 1式 |
| | 植栽工 | 1式 |
| | 給排水設備工 | 1式 |
| | 電気設備工 | 1式 |
| | 園路広場整備工 | 1式 |
| | サービス施設整備工 | 1式 |
| | 修景施設整備工 | 1式 |
| | 管理施設整備工 | 1式 |

完成



着工後真上



着工後南側



工事施工箇所



完成夜間

工事のポイント

当工事は、静岡理科大学建築学科長尾亜子研究室のご提案を基礎として、産学官提携で事業を進め、細部にわたり議論を重ね構想を実現させるための配慮をし施行を行いました。



作業状況

現場

令和5年度 一級河川伊久美川緊急自然災害防止対策工事(落差工)【株式会社エコワーク】

● 工事概要 ●

着手前



| | |
|-------|---------------------------------|
| 工事名 | 令和5年度 一級河川伊久美川緊急自然災害防止対策工事(落差工) |
| 工事箇所 | 島田市伊久美地先 |
| 工期 | 令和5年9月7日～令和6年2月20日 |
| 施工者 | 株式会社エコワーク |
| 発注者 | 静岡県島田土木事務所 |
| 現場代理人 | 中村 侑哉 |
| 工事概要 | 施工延長 21.9m |
| | 掘削工 30m ³ |
| | 置換コンクリート 20m ³ |
| | 遮水コンクリート 3m ³ |
| | 根固めブロック 4個 |
| | 大型土のう袋 447袋 |
| | 工事用道路 98m |

完成



工事のポイント



本工事は、一級河川伊久美川の補修に伴う施設整備を目的とし、落差工修繕及び、魚道新設をする工事でした。今回は右岸側の落差工を施工しました。川幅が狭く、施工基面が河床よりも深いため水を回すのに苦労しました。また、構造物の通り、天端のカーブを特に留意して施工しました。



作業状況

紹介

令和4年度 相良須々木海岸高潮対策工事(防潮堤工その2) 【大石建設株式会社】

● 工事概要 ●



| | |
|-------|--|
| 工事名 | 令和4年度 相良須々木海岸高潮対策工事（防潮堤工その2） |
| 工事箇所 | 牧之原市地頭方地先 |
| 工期 | 令和5年2月2日～令和6年2月29日 |
| 施工者 | 大石建設株式会社 |
| 発注者 | 静岡県島田土木事務所 |
| 現場代理人 | 村松 高明 |
| 工事概要 | 施工延長 48.1m 残存型枠工 1,319㎡ コンクリート工 3,227㎡ 排水構造物工 24m 築堤盛土工 2,760㎡ |

完成



ボックスカルバート布設状況

工事のポイント



本工事は、コンクリート工事が施工の過半を占めており、品質に影響を与える気候の変化等に注意して施工しました。



作業状況

現場

令和4年度 林業用施設災害復旧事業 林道日掛線災害復旧工事【マルキ建設株式会社】

● 工事概要 ●



工事名 令和4年度
林業用施設災害復旧事業林道日掛線災害復旧工事

工事箇所 島田市川根町笹間上地内

工期 令和5年3月30日～令和5年12月15日

施工者 マルキ建設株式会社

発注者 島田市

現場代理人 山本 尚樹

工事概要 EPS軽量盛土工 154m²

完成



工事のポイント



壁面材とブロックの一体型で単曲線がかかっており
ブロックの加工が主な作業となりました。



TOPICS

～こんな動きがありました～



令和6年新年賀詞交歓会を開催しました

1月12日(金)に藤枝市の藤枝四川飯店において、新年賀詞交歓会を開催し、井林衆議院議員と牧野参議院議員を来賓に迎え、新年を祝いました。

最初に、1月1日に発生した能登半島地震により、犠牲になられた方々に哀悼の意を表し、黙とうをしました。新年の挨拶で朝倉会長は、「地域の建設業は、インフラの整備・維持管理の他、災害時には最前線で活動する地域の守り手として、大きな社会的責任と重要な役割が期待されている」と話し、担い手の高齢化や若手入職者の減少といった構造的な問題など建設業界を取り巻く厳しい状況にも触れ、「地域住民の安全・安心の確保に資することができるよう、知恵を出し合い、難局を乗り越えていきたい」と呼び掛けました。当日は32名が出席し、会員相互の親睦や情報を交換する機会となり、有意義なひと時を過ごしました。



島田工業高校への 建通新聞贈呈式を 実施しました

島田工業高校の高校生に、建設産業の取り組みなど建設専門誌を通して伝え、担い手育成を図るため、当協会が新たな事業として、「建通新聞 静岡」の通年購読支援を4月からスタートしました。

1月23日(火)に朝倉会長が石川校長を訪ね、購読に関する贈答目録及び綴じ込みを手渡しました。



国土交通省浜松 河川国道事務所 と意見交換会を 開催しました

1月26日(金)に浜松河川国道事務所の名久井所長ほか幹部職員と正副会長との意見交換会を開催しました。同事務所からは総合評価ガイドラインの改訂、5年度補正予算、工事事故発生状況などについて情報提供があり、その後、協会からの意見・要望等について意見を交わしました。



令和6年度の事業 計画、収支予算が 承認されました

(一社) 島田建設業協会、建防島田分会は、3月12日(火)に令和5年度第2回総会を開催しました。

冒頭、朝倉会長は「国土強靱化基本計画に基づく対策が進められる中、地域建設業は地域の守り手として大きな社会的役割を担っている。建設産業の魅力を高めるため、働き方改革の加速化を図っていきたい。」との挨拶がありました。

続いて、議事に入り、令和6年度の事業計画案及び収支予算案が審議され、いずれも全会一致で承認されました。



令和5年度建設雇用改善優良事業所 知事褒賞表彰式が 開催されました

静岡県では雇用改善の上で模範となる業績のあつた建設事業所を表彰しており、令和5年度の優良事業所として、当協会からは、鈴木土建と岡村建設工業の2社が受賞し、表彰式が令和6年3月21日(木)に県庁で開催されました。



交通事故死ゼロを 目指して

「春の全国交通安全運動」が4月6日(土)から15日(月)までの10日間実施されました。

「安全を つなげて広げて 事故ゼロへ」のスローガンのもと、当協会も地域と連携してこの運動に取り組んでおり、運動期間中は、交通安全のぼり旗の掲示や、交通安全の呼び掛けなどを行いました。



無事故無災害を 願って!! 安全祈願祭を開催 しました

4月16日(火)に建災防島田分会は、年度初めにあたり工事の安全祈願を、島田市の「大井神社」で行い、1年間の無事故無災害を祈りました。

当日は、協会の正副会長、防災委員、島田労働基準監督署小坂署長と島田土木事務所吉村次長ら22人が参加しました。朝倉分会長は「昨年度当分会管内では工事中の死亡災害は発生しなかった。引き続き安全。パトロールを行い、無事故無災害を目指していく」と話しました。



今年度初めての「安全パトロール」と第1回防災委員会を実施

5月9日(木)午前中に島田労働基準監督署及び島田土木事務所との今年度初の合同安全パトロールを行い、安全指導者ほか22名が9の指導工事現場に分かれ、各現場において安全指導を実施しました。パトロール前の打合せでは、山本防災委員長が「昨年度は重大な事故は発生しなかったが、いつ事故が発生するか分からないので、気を引き締め、互いに確認し合って、事故防止に努めてほしい」と呼び掛けるとともに、労基の土屋監督官が労働災害発生状況などについて解説しました。

島田・金谷地区では、国道473号と相賀谷川の災害復旧現場を訪れ、作業現場や現場事務所、掲示物を確認し、適切な安全対策を指導しました。

午後には第1回防災委員会を実施し、建災防静岡県支部長表彰の候補者の選定や、安全標語・けんせつ川柳の募集、研修旅行や労働災害再発防止の取組みなどについて協議しました。



全国建設業協会会長表彰・静岡県建設業協会会長表彰等を多数の会員がめでたく受賞

永年にわたり建設業の発展に寄与した会社または個人を表彰する（一社）全国建設業協会会長表彰をはじめとする各種建設業団体の表彰式が開催され、当協会からも多数の会社及び個人が受賞しました。

- （一社）全国建設業協会会長表彰
 - 2条3号 朝倉 純夫（大河原建設㈱）
 - 2条4号 若杉 光嘉（若杉建設㈱）
 - 5条 大西 耕一（㈱グロージオ）
 - 小柳津佳久（岡村建設工業㈱）

- （一社）静岡県建設業協会会長表彰
 - 2条2号 紅林 眞之（㈱丸紅）
 - 2条4号 茂川 雅裕（マルキ建設㈱）
 - 5条 法月 利春（㈱橋本組）
 - 葺科 敦之（㈱橋本組）
 - 大窪 政紀（㈱原川土木）
 - 石本 和男（㈱原川土木）
 - 清水 克弥（㈱山田組）
 - 谷口 智己（㈱山田組）
 - 森田 由一（大河原建設㈱）
 - 塩澤 潤（㈱グロージオ）
 - 秋定 英寿（㈱鈴木土建）
 - 鈴木 隆之（㈱柳澤組）
 - 奥野香代子（一社）島田建設業協会

- 第40回（一社）静岡県建設業協会建設もの創り大賞表彰
 - 土木部門 優秀賞
 - 大河原建設㈱
 - 令和3年度（主）島田吉田緑橋梁補修工事（谷口橋補修工）
 - 土木部門 優良賞
 - ㈱橋本組
 - 令和4年度大井川阪本護岸整備工事
 - 建築部門 優良賞（A部門）
 - 大河原建設㈱
 - ヤマミ水産株式会社 本社工場新築工事
- （一社）全国中小建設業協会会長表彰
 - 3条1号 落合 直人（㈱金谷工務店）
- （一社）静岡県建設業団体連合会会長表彰
 - 表彰状1 山岸 豊（山岸建設㈱）



国土交通省静岡国道事務所と静岡河川事務所との意見交換会を開催しました

6月5日(水)に国土交通省静岡国道事務所と静岡河川事務所との意見交換会を開催しました。

意見交換会では、今年度の事業概要について同事務所から情報提供があり、能登半島地震及び南海トラフへの備え、防災体制への人員派遣、各種訓練への参加等について意見を交わしました。



協会の施工技術向上のための技術者講習会を開催しました

協会及び技士会主催で、6月6日(木)に㈱建設システム テクニカルソリューション部の鈴木 淳様を講師として「ICT活用工事と3次元データ納品工事」「クラウドを活用した現場管理」、アサクラソフト㈱ 東京営業所の井田 寧様を講師として、「建設業DX化を加速 現場の段取りから施工中のスケジュール管理のノウハウ」の3つの講習会を開催し、16社32名が受講しました。

講師からは、現場での活用事例の解説や事務所作業の軽減方法、プロジェクト管理のノウハウなどについてお話いただき、関連のシステムやアプリなどの紹介もありました。



災防日誌

災害防止への取り組み

日頃から建災防の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

労働災害発生状況を見たとき墜落・転落災害で痛い思いをする仲間が絶えません。

この災害を無くすため、器具の向上、作業場の向上、作業方法等々の向上が図られ、パトロールで廻らせて頂いても、不安を感じる現場はほとんど無い様に感じますが何故かと思ひ考えてみました。

現場作業の状況等でたぶん大丈夫だろうと思えることがあると思います。

その、たぶん、だろうを疑問符にして、やっというて良かった、付けというて良かった等々、良かったと思える一手間を自分や作業員と探り実行したいと考え直します。

簡単に言えても実働は大変なことが多くあると思いますが、安全はすべてにおいて最優先、自分を含め誰かを守ることにつながることを心構えにこれからのパトロールに取り組ませていただきたく思います。

何方様も痛い思い、命を奪われる事無く、安全作業が行われます様祈ります。

災防委員 徳山建設(株) 鈴木文昌



R 6. 5 建災防パトロール（県土木事務所同行）による掲示物等確認



建設事業主のみならず 建退共の掛金が電子申請で納付可能になりました！

①電子申請方式とは
証紙に代わる「退職金ポイント」という電子ポイントを事前に購入し、被共済者の就労日数を登録した「就労実績ファイル」により、個々の被共済者の掛金として充当するものです

②電子申請方式の申し込み方法は
電子申請方式申込書をダウンロードし建退共支部に提出

電子申請方式のメリット

- ①金融機関で証紙を購入する必要はありません
- ②手帳への証紙貼付や下請への現物交付が不要
- ③共済証紙受払簿の作成・管理が不要
- ④新規手帳申込等がオンライン申請できます
- ⑤加入履行証明願の作成が負担軽減
- ⑥公共工事における関係書類の電子化に対応

【電子申請方式の操作方法についてのお問合せ先】 0120-006-175 平日9:00~17:00
建退共静岡県支部 〒420-0851 静岡市葵区黒金町11-7-12階 TEL 054-255-6846

協会だより ~協会のうごき~



令和5年度（令和6年1月～3月）

- **総会**
令和5年度第2回総会 3月12日(火) 当協会
令和6年度事業計画（案）について ほか
- **新年賀詞交歓会** 1月12日(金) 藤枝四川飯店
- **理事会**
第4回理事会 1月12日(金) 藤枝四川飯店
新年賀詞交歓会の開催について ほか
第5回理事会 3月12日(火) 当協会
令和5年度第2回総会提出議案について
正副会長候補の選出について ほか
- **正副会長会議**
第6回会議 1月12日(金) 牧之原市内
第4回理事会提出議案について ほか
第7回会議 2月7日(水) 当協会
優秀施工者表彰候補者の選定について ほか
第8回会議 3月12日(火) 当協会
第5回理事会提出議案について ほか
- **広報委員会**
広報誌167号発行 1月初旬
- **環境・災害対策委員会**
県中部地域道路啓開検討会 2月15日(木) WEB
- **委員長会議** 2月7日(水) 当協会
令和6年度事業計画（案）について ほか
- **建災防島田分会**
第2回防災委員会 1月30日(火) 当協会
令和6年度事業計画（案）について ほか
安全パトロール
1月30日(火) 5地区
3月5日(火) 5地区

令和6年度（令和6年4月～）

- **総会**
令和6年度第1回総会 5月14日(火) 当協会
令和5年度事業報告について ほか
- **理事会**
第1回理事会 5月14日(火) 当協会
総会議案の審議 ほか
- **監査**
令和5年度監査 4月16日(火) 当協会

- **正副会長会議**
第1回会議 4月16日(火) 大井神社
今後の主要行事について ほか
第2回会議 5月14日(火) 当協会
今後の主要行事について
第1回役員会の議題について ほか
第3回会議 5月31日(金) 牧之原市内
今後の主要行事について ほか
- **総務委員会**
春の交通安全県民運動への参加 4月6日(土)～15日(月) 全会員
- **広報委員会**
第1回委員会 4月10日(水) 当協会
168号の企画
第2回委員会 6月5日(水) 島田市内
168号の校正
- **労務委員会**
第1回委員会 4月23日(火) 当協会
親子現場見学会について
- **土木・建築委員会**
静岡国道・静岡河川事務所との意見交換会 6月5日(水) 当協会
技術者講習会 6月6日(木) 当協会
- **環境・災害対策委員会**
災害対策用機械操作訓練
静岡国道事務所、静岡河川事務所主催 6月12日(水) 安倍川河川敷
- **建災防島田分会**
安全祈願祭 4月16日(火) 大井神社
第1回防災委員会 5月9日(水) 当協会
支部長安全表彰受賞候補者の推薦について ほか
安全パトロール
5月9日(水) 5地区

- **今後の予定**
島田地区建設業労働災害防止安全大会 7月2日(火) 夢づくり会館
親子現場見学会 8月8日(水)
国道1号静岡バイパス（清水立体）工事現場

表紙解説

大鐘家のコメント

戦国武将・柴田勝家の家臣を先祖にもち、江戸時代には相良の大庄屋として隆盛を誇った大鐘家。その住宅を保存・公開している。5月～7月中旬にかけては、約1万本のアジサイが開花。多くの見物客で賑わう。秋は菊花祭、冬～春はつるし雛展を開催。所要30分（アジサイの時期は45分～1時間）。9～10月中旬には酔芙蓉（すいふうよう）が咲く。



建設業協会 広報誌 創る 第168号 令和6年7月1日

発行元：一般社団法人島田建設業協会 広報委員会

島田市中央町12-10 TEL 0547-37-7105 FAX 0547-35-5705

URL <http://www.shimadakenkyo.jp/> E-mail info@shimadakenkyo.jp

印刷：株式会社 共立アイコム 藤枝市高柳1-17-23 TEL 054-635-4651